

千葉市多文化共生のまちづくり推進指針(案)に対する意見の概要と市の考え方

■ 2 千葉市の現状と課題

No.	(案) 該当箇所	意見の概要	意見の件数	市の考え方	修正
1	(2)外国人市民の現状 ①外国人市民数	外国人市民数の人口比や絶対人数について、政令指定都市で何番目の水準かの表記があっても良いのではないかと。	1	ご意見を踏まえ、3ページに外国人市民数及び人口に占める外国人市民の割合の本市の順番を追記しました。	あり
2	(2)外国人市民の現状 ②国籍	在留期間が長い人、短い人の大まかな分析があると面白い。(ニューカマーの比率は?)	1	ご意見を踏まえ、6ページにデータ等を追記しました。	あり
3	(2)外国人市民の現状 ①外国人市民数	教育課題や社会福祉課題に繋がるため、外国人の年齢層の分析(就学年齢人口、労働年齢人口、老人人口など)があると良い。	1	ご意見を踏まえ、4ページにデータ等を追記しました。	あり
4	(2)外国人市民の現状	日本で活躍してもらうための施策を考えるにあたり、留学生の卒業後の進路は。	1	外国人留学生の進路については、一部把握しておりますが、全体は把握しておりません。外国人留学生の活躍に向けた関係機関との連携の中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
5	(3)直面する課題	1万人アンケートによる比較で、外国人市民と日本人市民の理解が進んでいないとの回答が増えた理由は、この解決策が、多文化共生の市民PRへの課題となる。	1	否定的な回答が増えた結果を踏まえて、多文化共生社会を実現するための推進の方向性及び主な施策の例を定めたところであります。これらの取組みの実践に努めてまいりたいと考えております。	なし

■ 3 多文化共生のまちづくりに向けた取組み

No.	(案) 該当箇所	意見の概要	意見の件数	市の考え方	修正
6	(2)推進の方向性 推進の方向性1 多言語による各種情報の提供	多言語による各種情報共有はあらゆる分野で必要であり、ゴミ出し・防災・教育など、他部局との連携が必要なのでより詳細に記載されたい。	1	現在は転入した外国人市民の方に、多言語で日常生活に必要な事柄をまとめた「生活ガイドブック」の配布、千葉市国際交流協会のSNSを用いて多言語での情報発信を進めているところですが、引き続き他部局と連携のうえ、情報共有に努めてまいります。	なし
7	(2)推進の方向性 推進の方向性1 外国人市民の自立に向けた日本語学習支援の強化	行政から提供しているものでは足りず、市民のボランティアでの支援が大きい。有料施設の使用料減免等の支援策充実を求めたい。	1	外国人市民の自立に向けた日本語学習支援の強化や日本語交流の推進の中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
8	(2)推進の方向性 推進の方向性2 未来を創る青少年の国際感覚の涵養	一部の子どもだけが、国際交流するのではなく、もっとすべての子どもたちが、多種の外国文化にふれて、理解が進むような教育プログラムの開発が必要だと考える。	1	市内の小中高等学校等を対象に、外国出身職員や外国人ボランティアによる国際理解講座を実施しているところではありますが、より多くの子供たちがより深く理解を進められるプログラムについて、引き続き検討してまいります。	なし
9	(2)推進の方向性 推進の方向性2 未来を創る青少年の国際感覚の涵養	興味ややる気のある多文化共生ボランティアを講師として、市内の中学、高校で多文化共生や外国や外国文化を知る出前授業を計画する。	1	市内の小中高等学校等を対象に、国際理解講座を実施したり、市立高校において多文化共生に関する出前講座を実施したりしているところではありますが、内容の充実を目指して今後の参考とさせていただきます。	なし
10	(2)推進の方向性 推進の方向性2 多文化共生拠点としての千葉市国際交流プラザの機能の充実	国際交流協会の会議室を使って交流プログラムを開催することで国際交流協会の紹介と活用につなげる。(市民や外国人企画によるカルチャレイベントや多文化共生関係の学習会など、常に在住外国市民と日本人を混ぜた企画とする。)	1	国際交流協会が実施する各種取組みについては、その必要性や効果、費用などを勘案し、適時適切に実施できるよう努めてまいります。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
11	(2)推進の方向性 推進の方向性2 人権意識の啓発	日本人は、相手の個人の人格を出身の国によって差別するようなことがある。中でも、在日朝鮮人の方は、政治的ことと結びついて、何の罪もない子どもたちにしわ寄せが来ている。どんな人でも人権が有り、出身がどの国であろうと、その人権は尊重されるという啓発活動をもっと活発にした方が良いと思う。	1	異文化理解・相互理解の推進や人権意識の啓発の中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
12	(2)推進の方向性 推進の方向性3 国際交流ボランティア活動の推進	現在国際交流協会以外にもボランティアにより日本語学習支援の活動がなされているが、教える側が高齢化し、なり手が減少している。長年活動をされている方に、継続的に(若い世代へも)教育をして頂き、人材を育成していくべき。	1	外国人市民の自立に向けた日本語学習支援の強化や日本語交流の推進、国際交流ボランティア活動の推進の中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
13	(2)推進の方向性 推進の方向性3 国際交流ボランティア活動の推進	2020のボランティア・通訳を兼ねて、自国語ネイティブでのおもてなし・通訳ボランティア活動に繋がるネットワークを構築すると良い。	1	国際交流ボランティア活動の推進の中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
14	(2)推進の方向性 推進の方向性3 外国人市民と日本人市民がともに楽しむ場の創出	お互いに、知り合う、一緒に何かをする機会を増やす事が共生につながると思う。(もっと区役所や図書館、郵便局などでPRする)	1	外国人市民と日本人市民がともに楽しむ場の創出を検討していく中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
15	(2)推進の方向性 推進の方向性3 外国人市民と日本人市民がともに楽しむ場の創出	在留外国人が自分たちの(文化)コミュニティでこれから来る母国、母文化流入者の後輩指導ができるような仕組みを考える。日本に移住しても、いい意味での母国文化を継承しながら日本文化を楽しみ、味わい、日本社会に溶け込めるような施策支援と共助支援を検討する。	1	出身国や地域ごとのキーパーソンとの連携とあわせて、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
16	(2)推進の方向性 推進の方向性3 外国人市民と日本人市民がともに楽しむ場の創出	お互いの理解を高めるためには、気軽に参加できるイベントに参加することがいいと思う。こうしたイベントは小さい単位では行われていると思うが、多くの市民が参加できるように情報の出し方等工夫してほしい。	1	様々な手段を活用した情報提供は重要であると考えております。多言語による情報提供やSNSの活用等を含めて、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
17	(2)推進の方向性 推進の方向性3 外国人市民と日本人市民がともに楽しむ場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に合わせて、外国人市民・日本人市民と日頃から人間関係を築きつつ、現状や考えを理解し、対応策を考えて実行する人材として公民館職員の活用を提案する。 ・公民館職員であれば、ボランティアと異なり、個人の事情に左右されず安定的な取り組みが可能となるのに加えて、既存施設及び職員を活用するため、新規予算の投入も不要である。 ・公民館職員の統括責任者として、市や国際交流協会職員が横断的な視点での情報共有や研修を実施することで、各地域の活動と自然体に効果が波及する取り組みが合わさった施策展開が可能。 以上より、次の3点の追加を提案する。 ①地域コーディネーターとして公民館職員を活用することを明示 ②コーディネーター機能(問題の緩和、双方の住民の人間関係をつなぐ)の明示 ③これら業務の評価方法の明示	1	多文化共生社会の構築においては、公民館を含め公共施設等を活用した異文化理解や相互理解の促進が課題のひとつであると捉えております。ご意見については、異文化理解・相互理解の促進や外国人市民と日本人市民がともに生活を楽しむ仕組みづくりを目指していく中で、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし

その他

No.	(案) 該当箇所	意見の概要	意見の件数	市の考え方	修正
18	-	本指針案はほとんどが、千葉市にいる外国人を対象にしているが、千葉市から日本人が海外へ日本の文化や芸術をもって行くことも、視野に入れていたほうが良い。 千葉市を背負って外国へ行った方は、戻ってきたときには千葉市の多文化共生のまちづくりに貢献でき、また、相手の国の人たちに、日本を紹介し理解して貰う大きな原動力になる。	1	多様な人材が多文化共生社会実現の担い手となることは、望ましい傾向だと言えます。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	なし
19	-	文字が中心で23ページあると、一般市民にはなかなか読んでもらえないのではないかと。概略版として、図柄や写真を入れて親しみやすい8ページ程度の概略版を作ることを提案する。外国人のために、ルビがあると良い。 印刷して、市役所、区役所、図書館、国際交流協会、大学、関係ボランティア等に配布できる。	1	既に概要版(A4で2ページ)を別途作成しておりますが、親しみやすい概要版の作成を検討します。また、外国人市民にも読みやすい工夫についてもあわせて検討します。	なし
20	-	1文が長すぎて、日本語がかなり読める外国人でも読みづらい面があるため、文をより短く切った方が良いかもしれない。 例)P.22 国際交流協会の説明文	1	ご意見を踏まえ、1ページ、23ページを修正しました。	あり
21	-	市内大学の有識者や国際交流協会のスタッフ、市民ボランティアなどで多文化共生に関する〈有識者・有経験者会議〉を定期的に設け、今後の具体的アクションアイテムや指針を活用した実行計画、評価検証作業などを行うと良いと思う。(事務局は国際交流協会)	1	各種取組みの中での関係組織等との連携において、今後の参考とさせていただきます。	なし
22	-	成田市、船橋市、市川市など近隣で外国人比率の高い県内の都市や大学でインバウンド増加、在留外国人の活躍や溶け込み(統合)に向けた広域連携組織・ネットワークや活動を検討する。	1	各種取組みの中での関係組織等との連携において、今後の参考とさせていただきます。	なし
23	-	人口の2.4%が外国人市民とのことだが、共生のための指針を作成することを評価する。	1	ご意見ありがとうございました。	なし
24	-	アンケートや外国人市民の声や日本人市民の声などの生の紹介は、とても良い。キーワードの定義や解説・説明も囲みでいれてあってわかり易い。	1	ご意見ありがとうございました。	なし